

Ⅱ 国語の問題と 調査結果・分析等

分析ページの構成と見方について

1 「設問のねらいと評価」について

- ◎ 「大問・領域」には、「読むこと（文学的文章）」「読むこと（説明的文章）」「言語事項」「書くこと」の4領域を、「設問のねらい」には小問ごとの設問のねらいを、「評価」の項目には、「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「言語についての知識・理解・技能」の5観点に該当するものを○印で示した。

2 「調査結果の概要と分析」について

- ◎ 調査結果の概要と分析については、「全体（教科全般）」「領域別（領域や内容別）」「継続して見られる課題」を示した。

（◇：良好な結果が見られた点 ◆：課題が見られた点 ○：指導のポイント）

3 「領域別調査結果の指導のポイント」について

- ◎ 大問ごとに設問・正答・結果・誤答例等について左ページに、その考察（分析・指導のポイント）について右ページ以降に記した。

※ 分析等では、小数第2位を四捨五入した調査結果を用いている。

（※誤答例は、抽出生徒の主な誤答について頻度の高いもの）

1 設問のねらいと評価

評価の観点：1…関心・意欲・態度 2…話す・聞く能力 3…書く能力 4…読む能力 5…言語についての知識・理解・技能

領域 正答率 %	大問	小問	設問のねらい	評価の観点				
				1	2	3	4	5
(文学的文章) 読むこと	1	問1	表現に注意しながら文章を読み、登場人物の心情を正確にとらえることができる。				○	
		問2	登場人物の行動から心情をとらえて読むことができる。				○	
		問3	文章の展開に則して内容をとらえ、登場人物の行動や心情について説明することができる。				○	
		問4	表現の仕方や文章の特徴に注意して、登場人物の心情や人間関係について説明することができる。				○	
		問5	表現に則して、文章の具体的な内容をとらえることができる。				○	
(説明的文章) 読むこと	2	問1	説明的文章における論の展開を正確に読み取ることができる。				○	
		問2	指示語が示す具体的な内容を読み取ることができる。				○	○
		問3	抽象的な表現が指し示す、具体的な内容を読み取ることができる。				○	
		問4 い	文章の内容を整理し、必要な情報を正しく読み取ることができる。				○	○
		問4 ろ	与えられた情報を自分の頭で整理し、別の情報に置き換えることができる。				○	
(漢字の読み書き) 言語事項	3	1	小学校6年生までに学習した漢字を正しく書くことができる。					○
		2						○
		3						○
		4						○
		5	小学校6年生までに学習した漢字を正しく読むことができる。					○
		6						○
		7 解答不要						
		8						○
(漢字の読み書き以外) 言語事項	4	問1	同音の漢字の意味の違いを捉え、文脈に沿って適切な漢字を選ぶことができる。					○
		問2	故事成語の意味を、故事と関連付けてとらえることができる。					○
		問3	文中から「修飾語・被修飾語」の関係を正しくとらえることができる。				○	○
		問4	熟語の意味を正しく理解し、適切な漢字をあてはめることができる。					○
		問5	漢字の書き順を理解し、正しく書くことができる。			○		○
と書くこと (文作)	5		一コマ漫画が伝えている内容を理解し、その内容についての感想を、自らの体験や出来事と結び付けて書くことができる。	○		○	○	○

2 調査結果の概要と分析

全 体	◇文章内容を正確に読み取り理解することについては、おおむね満足できる状況にある。 ◇表現に則して登場人物の心情を読み取る問題では、比較的高い正答率をあげていた。 ◇漢字の読み取りについては、おおむね満足できる状況にある。 ◇無解答率を昨年度と比較して見ると、若干ではあるが下がっている。 ◆抽象的な表現から文章の具体的な表現を読み取る問題では、正答率が低かった。 ◆読み取った内容について、自分の考えを筋道立てて説明する力に課題が見られる。								
領 域 別	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="240 510 300 875"> 読 む こ と 文 学 的 文 章 </td><td data-bbox="300 510 1410 875"> ◇「表現に注意しながら文章を読み、登場人物の心情を読み取る問題（１－問１）」では、77.3%、「登場人物の行動から心情をとらえて読み取る問題（１－問２）」では87.8%と高い正答率をあげており、上昇傾向にある。 ◆「抽象的な表現から、それが指し示している具体的な表現を読み取る問題（１－問５）」の正答率は46.5%と、50%を下回っており、読み取った文章の内容をもう一度頭のなかで整理し、再構成する力について課題が見られた。 ○文章の内容に沿って解釈し、自分の考えをもてるようにするために、単語や短い言葉で答えさせるだけでなく、根拠を明確にして説明させたり、意見を交流させたりする言語活動を計画的に行う。 </td></tr> <tr> <td data-bbox="240 875 300 1263"> 読 む こ と 説 明 的 文 章 </td><td data-bbox="300 875 1410 1263"> ◆説明的文章の特徴である「序論—本論—結論」という流れを整理して読み取る力に課題が見られる。「筆者の論の展開を正確に読み取る問題（２－問１）」の正答率は、46.3%であり、50%を下回った。 ◆「与えられた情報を自分の頭で整理し、別の情報に置き換える問題（２－問４ろ）」の正答率は44.5%であり、論の展開に則して文章の内容を整理する力には課題が見られる。 ○指示語等に注意しながら、筆者の論がどのように展開していき、どのような根拠からどのような結論を導き出したかを読み取ると同時に、読み取った文章について自分の考えをもつ力の育成が必要である。 </td></tr> <tr> <td data-bbox="240 1263 300 1458"> 言 語 事 項 </td><td data-bbox="300 1263 1410 1458"> ◇小学6年生までに学習した漢字を読むことについては、高い正答率をあげていた。 ◆正しく書くことについては「関心」が37.4%、「区」の書き順を答える問題の正答率は28.2%と課題が見られた。 ○文章を書く際に、正しい表記や言葉遣い、文法等を意識しながら書く習慣を身に付けさせる。 </td></tr> <tr> <td data-bbox="240 1458 300 1653"> 書 く こ と </td><td data-bbox="300 1458 1410 1653"> ◇一コマ漫画を見て、自分の意見を述べることについては、おおむねできていた。 ◆一コマ漫画の中に示されている複数の情報を整理して一つの情報にまとめる力に課題が見られた。 ○「書くこと」の言語活動を積極的に取り入れることにより、考えや感想を論理的に説明したり、文章で書き表したりする機会を増やす。 </td></tr> </table>	読 む こ と 文 学 的 文 章	◇「表現に注意しながら文章を読み、登場人物の心情を読み取る問題（１－問１）」では、77.3%、「登場人物の行動から心情をとらえて読み取る問題（１－問２）」では87.8%と高い正答率をあげており、上昇傾向にある。 ◆「抽象的な表現から、それが指し示している具体的な表現を読み取る問題（１－問５）」の正答率は46.5%と、50%を下回っており、読み取った文章の内容をもう一度頭のなかで整理し、再構成する力について課題が見られた。 ○文章の内容に沿って解釈し、自分の考えをもてるようにするために、単語や短い言葉で答えさせるだけでなく、根拠を明確にして説明させたり、意見を交流させたりする言語活動を計画的に行う。	読 む こ と 説 明 的 文 章	◆説明的文章の特徴である「序論—本論—結論」という流れを整理して読み取る力に課題が見られる。「筆者の論の展開を正確に読み取る問題（２－問１）」の正答率は、46.3%であり、50%を下回った。 ◆「与えられた情報を自分の頭で整理し、別の情報に置き換える問題（２－問４ろ）」の正答率は44.5%であり、論の展開に則して文章の内容を整理する力には課題が見られる。 ○指示語等に注意しながら、筆者の論がどのように展開していき、どのような根拠からどのような結論を導き出したかを読み取ると同時に、読み取った文章について自分の考えをもつ力の育成が必要である。	言 語 事 項	◇小学6年生までに学習した漢字を読むことについては、高い正答率をあげていた。 ◆正しく書くことについては「関心」が37.4%、「区」の書き順を答える問題の正答率は28.2%と課題が見られた。 ○文章を書く際に、正しい表記や言葉遣い、文法等を意識しながら書く習慣を身に付けさせる。	書 く こ と	◇一コマ漫画を見て、自分の意見を述べることについては、おおむねできていた。 ◆一コマ漫画の中に示されている複数の情報を整理して一つの情報にまとめる力に課題が見られた。 ○「書くこと」の言語活動を積極的に取り入れることにより、考えや感想を論理的に説明したり、文章で書き表したりする機会を増やす。
読 む こ と 文 学 的 文 章	◇「表現に注意しながら文章を読み、登場人物の心情を読み取る問題（１－問１）」では、77.3%、「登場人物の行動から心情をとらえて読み取る問題（１－問２）」では87.8%と高い正答率をあげており、上昇傾向にある。 ◆「抽象的な表現から、それが指し示している具体的な表現を読み取る問題（１－問５）」の正答率は46.5%と、50%を下回っており、読み取った文章の内容をもう一度頭のなかで整理し、再構成する力について課題が見られた。 ○文章の内容に沿って解釈し、自分の考えをもてるようにするために、単語や短い言葉で答えさせるだけでなく、根拠を明確にして説明させたり、意見を交流させたりする言語活動を計画的に行う。								
読 む こ と 説 明 的 文 章	◆説明的文章の特徴である「序論—本論—結論」という流れを整理して読み取る力に課題が見られる。「筆者の論の展開を正確に読み取る問題（２－問１）」の正答率は、46.3%であり、50%を下回った。 ◆「与えられた情報を自分の頭で整理し、別の情報に置き換える問題（２－問４ろ）」の正答率は44.5%であり、論の展開に則して文章の内容を整理する力には課題が見られる。 ○指示語等に注意しながら、筆者の論がどのように展開していき、どのような根拠からどのような結論を導き出したかを読み取ると同時に、読み取った文章について自分の考えをもつ力の育成が必要である。								
言 語 事 項	◇小学6年生までに学習した漢字を読むことについては、高い正答率をあげていた。 ◆正しく書くことについては「関心」が37.4%、「区」の書き順を答える問題の正答率は28.2%と課題が見られた。 ○文章を書く際に、正しい表記や言葉遣い、文法等を意識しながら書く習慣を身に付けさせる。								
書 く こ と	◇一コマ漫画を見て、自分の意見を述べることについては、おおむねできていた。 ◆一コマ漫画の中に示されている複数の情報を整理して一つの情報にまとめる力に課題が見られた。 ○「書くこと」の言語活動を積極的に取り入れることにより、考えや感想を論理的に説明したり、文章で書き表したりする機会を増やす。								
継 続 し て 見 ら れ る 課 題	◆読み取った内容を頭の中で整理・再構成して、それを根拠としながら、自分の意見を筋道立てて説明する能力が不足している。 ◆漢字の意味を正確に理解し、意味に合った漢字を使い分ける能力に課題が見られる。また、言葉を構成する文法についての基本的な知識についても理解が不足している。 ◆複数の情報を読み取り、頭の中で整理・再構成し、更にその中から必要な情報を取り出しつつ、自らの意見の根拠とする力に課題が見られる。また、原稿用紙の正しい使い方についても課題が見られる。								

3 領域別調査結果の指導のポイント

(1) 読むこと【文学的文章】

大問・領域	小問	問 題	正 答	主な誤答例	自校の正答率	市の正答率	市の無解答率	設定通過率
1	問 1	(A)にあてはまる言葉を記号で書きなさい。 ア やすらいでいる イ よろこんでいる ウ おこっている エ なげいている	イ	エ		77.3	0.5	70
	問 2	無駄な時間を過ごしたことで失ってしまったのはどのようなものですか。文章中から八字で書き抜きなさい。	たくさんの可能性	筋肉が落ちている		87.8	4.1	70
	問 3	優太が猫田に言い訳をしなかった理由として最も適切なものを、記号で書きなさい。 ア 自分からレギュラーの座をうばった猫田に対し、言い訳をしたくなかったから。 イ 元気に思い切り走っている姿を見られて、言い訳をしても無駄だと思ったから。 ウ これ以上けがを言い訳にして、自分の可能性を失いたくないと思ったから。 エ ここで言い訳をすると、二度とサッカー部に戻してもらえないと思ったから。	ウ	イ		79.2	1.0	70
	問 4	猫田が残念そうに腕組みをした理由を、二十五字以上三十字以内で書きなさい。書き出しを「猫田は」に続け、文末を「から」につなげる形で書くこと。	(猫田は、) 優太がサッカー部に戻れば、レギュラーの座を奪われると思った (から)	(猫田は、) ぼくの膝が治り、サッカー部に戻ってくるのではないかと思った (から)		38.7	8.6	60
	問 5	「ほんとの未来」を具体的に表現している一文の最初の五字を本文中から書き抜きなさい。	ぼくは高校	勝負は高校		45.5	4.0	60

(単位：%)

読むこと【文学的文章】

問題

＜資料文について＞

関口尚『空をつかむまで』の一節である。

主人公の優太は、膝の故障を言い訳にして無気力な中学校生活を送っていた。そんな優太が、トライアスロンのマラソン種目への参加をきっかけに、心の成長を遂げる作品である。ここで取り上げた場面は、膝の痛いふりをしてたくさんの可能性を捨ててしまっていた過去に気づき、未来への前向きな意志をもつまでの、優太の心情の変化が描かれている。生徒と同年代の中学生を主人公とした一人称の文章は、共感しながら読むことができたであろう。

資料文を選定するにあたっては、前年度の学習状況調査における指導のポイント「読み取ったことについて、自分の解釈を加えず、文章中の表現を必ず踏まえてとらえさせる。」を考慮し、①感情移入しやすいがために、本文の意図から離れた勝手な解釈で読んでしまいがちな作品であること、②心情を読み取る際の根拠がつかみやすいこと、という視点で選定した。

問 1

(A) に当てはまる言葉として、ふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で書きなさい。

ア やすらいでいる

イ よろこんでいる

ウ おこっている

エ なげいている

分析

表現に注意しながら、登場人物の心情を正確にとらえることができるかを見る問題である。「足がなかなか前に進まない」という状況を「けれども」と逆接で受けていることから、前向きな気持ちを読み取り、答えとしてつなげていけるかがポイントであった。正答率は77.3%で、多くの生徒が理解できていた。主な誤答として、エの「なげいている」と答えた生徒が多かった。これらの生徒は、逆接の接続語に注目して、文脈から内容を読み取る力が不足しているように感じられる。

問 2

①痛ければいいな、と願い続けて無駄な時間を過ごしてしまった。 とありますが、無駄な時間を過ごしたことで失ってしまったのはどのようなものですか。本文中から八字で書き抜きなさい。

分析

問題の意図や指示語をとらえ、登場人物の行動から心情を読み取る問題である。正答率は87.8%であり、設定通過率を大きく上回った。傍線①直後の「きっとそのあいだにたくさんの可能性を捨ててしまっていたにちがいない。」という部分から、「その」という指示語が傍線①を指していることに気づき、問題文中の「失ってしまった」という表現は、本文「捨ててしまっていた」という表現につながっていることを正しく読み取ることができていた。主な誤答として、「可能性を捨ててし」のように、文の途中の表現を、中途半端に抜き出したものが挙げられる。また、「失ってしまったもの」を答える問題なのだが「筋肉が落ちている」という誤答も多かった。これらの生徒は、問題文を読み取る力や問題文に対応させて適切な表現を抜き出す力が不足していると考えられる。

問 3

②そんな言い訳が頭に思い浮かんだ。しかし、膝から手を放して、はっきりと答えた。 とありますが、ぼく（優太）が言い訳をしなかった理由として最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、記号で書きなさい。

- ア 自分からレギュラーの座をうばった猫田に対し、言い訳をしたくなかったから。
- イ 元気に思い切り走っている姿を見られて、言い訳をしても無駄だと思ったから。
- ウ これ以上けがを言い訳にして、自分の可能性を失いたくないと思ったから。
- エ ここで言い訳をすると、二度とサッカー部に戻してもらえないと思ったから。

分析

前後の文脈から、優太の前向きな気持ちを読み取る問題である。正答率は 79.2% であり、全体的によく理解できていた。主な誤答はイの「元気に思い切り走っている姿を見られて、言い訳をしても無駄だと思ったから。」である。直前の「弱々しい返事」、「負い目」という表現から、優太の心情を後ろ向きなものとしてとらえてしまったことが誤答の原因として考えられる。しかし、それより前の内容から今までの生活を反省した上で優太の内面が前向きなものに変化していることを読み取らなければならなかった。また、その後の文脈と合わせて考えれば、「はっきりと答えた」のは、優太の前向きな意志の表れとして見ることができるはずである。

問 4

③猫田は残念そうに腕組みをした。 とありますが、それはなぜですか。次の文に合うよう、二十五字以上三十字以内で書きなさい。

- ・猫田は、(二十五字以上三十字以内)から。

分析

資料
1

猫田は、

の	カ	ぼ
で	ー	く
は	部	の
な	に	膝
い	も	が
か	ど	治
と	っ	り
思	て	
っ	く	サ
た	る	ッ

 から。

資料
2

猫田は、

ワ	に	ぼ
し	回	く
ド	さ	ガ
に	れ	テ
抜	た	イ
擡	と	フ
さ	き	エ
れ		シ
た	フ	ダ
	オ	ト

 から。

資料
3

猫田は、

の	や	ラ
も	け	イ
知	に	い
ッ	は	ル
ア	し	か
い	ハ	減
る	い	る
	で	か
	い	ら
	た	と

 から。

表現の仕方や文章の特徴に注意して、登場人物の心情を説明する問題である。正答率は、38.7%であり、文学的文章の問題の中で最も低かった。前年度の記述式問題（十字以上十五字以内で心情を答える問題）と比較すると正答率が 35.4 ポイント下がっている。記述量が増えたことも正答率が下がったことに影響しているといえる。無解答率は昨年度より 0.2 ポイント上がり 8.6 ポイントであった。

主だった誤答を 3 例挙げる。

（資料 1）「（猫田は）ぼくの膝が治り、サッカー部に戻ってくるのではないかと思った（から）」
→状況を把握し、その後予想されることまでは書けているが、残念そうな気持ちの理由としては説明が足りていない。

（資料 2）「（猫田は）ぼくがディフェンダーに回されたとき、フォワードに抜擢された（から）」
→このように、書き抜き問題ではないのに本文をほとんどそのまま抜き出すことしかできていない解答が多く見られた。猫田と優太の関係を踏まえた具体的な記述ではあるが、事実を述べているにすぎず、そこから先の猫田の気持ちを書くことまで至っていない。

（資料 3）「（猫田は）ライバルが減るからとやけにはしゃいでいたのも知っている（から）」
→「猫田は」を主語にして理由を答えるところ、優太が主語として書かれている部分をそのまま抜き出して解答しているために、主語と述語が一致しない文になっている。本文中の内容を書き換える力が不足している。

問 5

④ほんとの未来 とありますが、それを具体的に表現している一文の最初の五字を本文中から書き抜きなさい。

分析

（本文引用）

勝負は高校に入ってから。
いまのぼくにはその言葉が、強がりでも、遠い希望でもなく、やがて来る④ほんとの未来として感じられた。ぼくは高校に行ってサッカーをふたたび始める。

登場人物の決意を具体的に読み取る問題である。正答率が 45.5%と低く、無解答率も 4%と高かった。主な誤答は「勝負は高校」であった。「その言葉」に④「ほんとの未来」を「ぼく」が感じたことから、指示語「その」の指す内容である「勝負は高校に入ってから」を具体的に表現している一文として解答したのではないだろうか。問題の意図する「具体的」という言葉の意味を理解できていないことが、誤答を招いた原因として考えられる。

指導のポイント

- 文章の内容や指示語の指す内容を正確に読み取るために、日頃から重要なことに線を引いたり、メモを取らせる指導を継続的に行い、自分の考えをもって読むことの習慣化を図る。
- 文章の内容に沿って解釈し、自分の考えをもてるようにするために、単語や短い言葉で答えさせるだけでなく、根拠を明確にして説明させたり、意見を交流させたりする。
- 文章を要約したり、内容を自分の頭の中で整理したりする力を高めるための言語活動を積極的に取り入れる。「書くこと」においては、感想文を書く活動や書き換え作文を、「話すこと・聞くこと」においては、ブックトークや感想を交流する活動を授業で行わせる。

(2) 読むこと【説明的文章】

大問・領域	小問	問 題	正 答	主な誤答例	自校の正答率	市の正答率	市の無解答率	設定通過率
2	問 1	本文の内容のまとまりごとに、三つに分けたものとしてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で書きなさい。	ア	ウ		46.3	1.8	60
	問 2	① <u>それ</u> が示す内容は何ですか。本文中から十二字で書き抜きなさい。	竹トンボをつくっている自分	頭に中に竹トンボを作って		58.0	10.5	70
	問 3	② <u>自分自身を、自分から切り離して、働きかける対象に転化させる</u> のです。とありますが、この部分はH段落にある、どの表現について説明したのですか。H段落の中から書き抜きなさい。	自分をみる *「自分に語りかけます」も可	「もう少しだ！でき上がりは近いぞ！がんばれ太郎よ！」		40.7	17.0	80
	問 4	田中さんはこの文章を読んで、「脳の労働」と「手の労働」の関連についてクラスで発表しました。 <u>い</u> に当てはまる言葉を本文中から二十字以内で書き抜きなさい。	自分の意思で計画的に自然をつくりかえる	人間が意図的に、人間によって作る		17.2	27.5	70
	問 4	また、 <u>ろ</u> に入る「脳の労働」と「手の労働」が関連した例として <u>ふさわしくないものを</u> 、以下のア～エの中から一つ選び、記号で書きなさい。	ウ	イ		44.5	5.3	70

(単位：％)

読むこと【説明的文章】

問題

＜資料文について＞

中原正木『人は足から人間になった』からの抜粋である。言葉を持ち、自分自身を客観的に見ることが出来る人間が、いかに高度に自然を変革してきたかを、ライオンなどの動物と比較したり、竹トンボや石器作りを例に挙げて述べている。

序論と結論がはっきりしているこの文章は、段落構成がとらえやすいと思われる。抽象的概念をいかに具体的なことがらと結びつけて考えられるかが問題を解く鍵となったであろう。

問 1

本文の内容のまとまりごとに、三つに分けたものとしてふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で書きなさい。

- ア AB — CDEFGHI JKLMN — O
 イ ABCDE — FGHIJKLM — NO
 ウ AB — CDEFGHIJ — KLMNO
 エ ABC — DEFG — HIJKLMNO

分析 説明的文章における論の展開を正確に読み取る問題である。正答率は 46.3%で、設定通過率 60%を下回った。この文章は、説明文として典型的であり、分かりやすい構成になっている。

「ところで」(C段落)ということばをとらえて、その前までが序論であることは多くの生徒が理解できたようである。しかし、結論を導き出す際、文頭の言葉「このように」(O段落)という指示語だけをとりえて、前の段落とつながりがあると単純に判断してしまった生徒がかなりいた。それは、いくつかある具体例のつながりが読み取れなかったことに原因があると考えられる。また、筆者の主張が最後にあることは理解できたが、結論が一段落しかないことに不安を感じたことで誤答になった生徒がいたとも思われる。

接続語や指示語等の文頭の言葉を意識しながらも、文章全体の構成をしっかりと考えて読むことに課題がある。

問 2

- ① それ が示す内容は何ですか。本文中から十二字で書き抜きなさい。

分析 指示語が示す具体的な内容を読み取る問題である。正答率は 58.0%であった。

指示語が示す内容は、指示語のすぐ前にあることが通常である。そして、「それに対して働きかけるのです。」の「それ」に置き換えて答えればよい。ところが、＜資料 1＞に見られるように、前の段落にある「きわめて高度な心理的活動」を抜き出したり、「人間労働をコントロールし」「頭の中に竹とんぼを作って」等、「それ」に置き換えることが全くできない誤答もあった。指示語の意味を考えずに、または、指示語の意味が理解できておらずに、ただ「十二字」という字数だけにとらわれて探しているように思われることから、「指示語」についての理解に課題がある。

＜資料 1＞



問題

② 自分自身を、自分から切り離して、働きかける対象に転化させるのです。とありますが、この部分はH段落にある、どの表現について説明したのですか。H段落の中から書き抜きなさい。

分析

抽象的な表現が指し示す、具体的な内容を読み取る問題である。正答率は 40.7 %で、設定通過率 80%を大きく下回った。「自分自身を、自分から切り離す」ということは、「自分を（客観的に）見る」ということであるが、抽象的な概念と具体的な表現をうまく結びつけることができない生徒が多かった。また、「もう少しだ！できあがりに近いぞ！がんばれ太郎よ！」と語りかけている言葉をそのまま抜き出した誤答は、「転化（移り変わること。変化して他の状態になること。）」の意味が分からず、問題文そのものが理解できなかったからだと思われる。語彙力の低下がうかがえる。

問 4

田中さんはこの文章を読んで、「脳の労働」と「手の労働」の関連についてクラスで発表しました。
い にあてはまる言葉を本文中から二十字以内で書き抜きなさい。また、ろ に入る「脳の労働」と「手の労働」が関連した例としてふさわしくないものを、以下のア～エの中から一つ選び、記号で書きなさい。

人間がライオンと大きく違う点は、人間には、い ことができるということにあります。ライオンの牙は、ライオンの遺伝子によって受け継がれてきたものですが、人間の作ってきた道具は全て自分の意思によって作られたものなのです。原始人はヒョウと戦う槍の穂先を作るとき、ヒョウと闘う自らの姿をイメージしながら手を動かし続けます。また、現在の子どもたちも、竹トンボを作るときには、まず、理想的な竹トンボを頭の中に作り、それに合わせて手を働かせ、竹を削ります。つまり、人間の道具作り、あるいは自然変革においては、脳の運動が手の運動に先行し、手の運動が脳の労働をつき上げるようになりました。つまり、考えては作り、作っては考えるのです。

この「脳の運動」と「手の運動」の関係は私たちのあらゆる生活にあてはまります。

私も昨日、ろ 。

(選択肢)

ア カレーライスを作りましたが、おいしく食べている自分を想像しながら、調味料の分量や具材の大きさを調節しました。

イ プラモデルを作りましたが、完成した作品を想像しながら、部品一つ一つを丁寧に接着剤で組み合わせました。

ウ 第一希望の学校に合格した自分を想像しながら、高校のパンフレットをすみからすみまで、じっくりとながめました。

エ 野球の試合で調子のよかった自分を想像しながら素振りをし、打撃フォームの悪かった点を修正しました。

分析 <い>について>

文章の内容を整理し、必要な情報を正しく読み取る問題である。正答率は 17.9%と、今回の調査問題の中で最も低く、3割近くが無解答であった。

全体的内容を理解した上で結論を導き出す必要があるが、文章のすべてを読んで理解していないために、序論に対してどういう結論になっているかが理解できていなかった。さらに、結論の内容そのものが抽象的な概念で書かれているからか、理解しきれずに解答に至らなかった生徒もいるのではないと思われる。＜資料 2＞の①と②にあるように、人間とライオンを比較している

ことで、序論や「ライオン」という言葉がある部分だけしか読まなかったであろうと考えられる誤答が目立った。

また、問題文に「いにあてはまる言葉を本文中から二十字以内で書き抜きなさい。」とあるにもかかわらず、＜資料２＞の① ③ ④のように、本文の言葉を書き換えてしまったり、字数だけにとらわれて探している＜資料２＞⑤のような誤答、さらに「……人間には、いことができるということにあります。」にあてはまらない言葉を書き抜いている誤答もあった。問題文自体をしっかりと読んでいない、あるいは読み取る能力が付いていない生徒が多いと思われる。

問題文を含め、文章の内容を正確に理解することや文章全体の内容を整理し、要約することや読みとった内容から必要な事柄を探すことに課題がある。

＜資料２＞ ①

の	人
意	間
志	が
に	意
よ	図
的	的
て	に
作	
る	人
	間

②

自	ラ
分	イ
と	オ
ン	
み	そ
み	
	同
	時
	人

③

に	道
よ	具
ッ	を
て	全
作	て
る	自
	分
	の
	意思

④

ど	ラ
と	イ
は	オ
ち	コ
か	ヤ
う	イ
	ニ
	パ
	ナ

⑤

ほ	考
考	え
え	て
る	は
	作
	り
	作
	ッ
	て

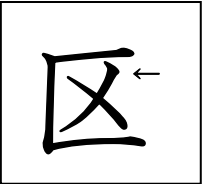
分析＜ろについて＞

与えられた情報を自分の頭で整理し、別の情報に置き換える問題である。正答率は44.5%で、設定通過率70%を大きく下回った。「脳の運動」と「手の運動」が関連した例として問われている中で、ウだけが「脳の運動」と「脳の運動」の関係なので分かりやすいと思われたが、正答率は低かった。自らが具体例を示して説明することに課題があると思われる。

指導のポイント

- 論理的な思考力を付けさせるために、自分の意見に対して具体的な根拠や例を挙げて説明したり、新聞等の「論点が明確な文章」を読んだり、書き写したりする。
- 語彙力を高めさせるために、日常生活のいろいろな場面で、辞書を効率よく活用する。
- 文章の内容や指示語の指す内容を正確に読み取るために、日頃から線を引いたり、メモをとらせる等の指導を継続的に行うことで、自分の考えをもって読むことの習慣化を図る。

(3) 言語事項

大問・小問	小問	問 題	正 答	主な誤答例	自校の正答率	市の正答率	市の無解答率	設定通過率
3 言語事項 漢字	1	音楽に <u>カンシン</u> をもつ。	関心	感心		37.4	12.3	70
	2	社会を <u>コウセイ</u> する一員。	構成	講成 更生 構 構		38.2	30.5	80
	3	朝までぐっすり <u>ネム</u> る。	眠	寝(る) 眠 眠		56.9	12.1	80
	4	みんなで <u>落ち葉</u> を <u>ヒロ</u> う。	拾	捨		52.4	9.1	70
	5	すぐれた力を <u>發揮</u> する。	はつき	ハッキ		94.6	3.0	70
	6	<u>沿道</u> でマラソンを見学する。	えんどう	そどう そくどう		60.9	13.9	70
	8	<u>快</u> く引き受ける。	こころよ	こちよ		76.1	1.3	70
4 言語事項 漢字の読み以外	1	窓を <u>カイホウ</u> （ア 開放 イ 解放 ウ 快方）する。	ア	イ		93.1	6.2	70
	2	次の一文は、中国の古典物語から引用したものです。この物語から生まれた故事成語を漢字二字で書きなさい。 「子の矛をもって子の盾をとほさばいかん」と。	矛盾	盾矛		80.7	2.6	80
	3	次の文の <u>母は</u> を修飾する文節を、記号で書きなさい。 <u>わたしの</u> <u>母は</u> <u>ピアノの</u> <u>先生だ。</u>	ア	ウ		49.1	2.0	80
	4	漢和辞典で「頭」という漢字の意味を調べると、次のように出ていました。 あとのアとイに使われている「頭」の意味を、番号で書きなさい。 [頭] 1 首から上の部分。 2 上に立つもの。 3 はじめ。 4 動物を数える単位。 5 ひとり。付近。 ア 街頭 イ 年頭	5	2		73.0	2.3	80
	5	次の矢印で示した部分は何画目に書きますか。漢数字で書きなさい。 	二	三		28.2	6.8	70

(単位：%)

言語事項

問題 前頁参照

分析 漢字の読み書きは、すべて小学校で既習の学年別配当漢字からの出題である。本調査を受けた生徒が小学校5年、6年のときに市、全国の同一調査問題を受けており、その後の習得状況を見るために出題した。また、漢字の読み書き以外の語句に関する問題は、中学1年生の授業内容も含めて幅広く出題した。

3 (漢字の読み書き)

1の「関心」の正答率は37.4%と非常に低く、誤答としては、「感心」が多かった。これは、「関」と「感」の意味を考えずに、一般的に知られている「感心」を書いたのではないだろうか。また、2の「構成」にも言えることだが、同音異義語の意味の違いを理解していない生徒も多いように思われる。

3の「眠る」、4の「拾う」は、「形が似ている漢字」との見分けが付けられない傾向が見受けられる。また、「眠る」に関しては、「寝る」との違いを理解していない生徒や、「眠る」という漢字そのものを知らず、「寝る」が正しい書き方と理解している生徒がいるように思われる。

5の「はっき」、7の「ころよ(く)」は漢字に直す問題に比べれば正答率は高いが、6の「えんどう」は、無解答率が13.9%と高く、漢字の意味は理解しているものの、正確な読み方を理解できていないようである。

4 (漢字の読み書き以外)

【問1】 93.1%と正答率が高いのは、携帯電話やパソコンを日頃から使用しているため、見比べて正答を得る力は身に付いていることがうかがえる。

【問2】 80.7%と正答率が高いことから、故事成語における故事の内容と言葉の意味について、授業を通してほとんどの生徒が理解していることがうかがえる。

【問3】 誤答の多くが「ウ」であることから、問題文の「母はを修飾する文節を」の「を」を「が」に取り違えて問題を読んでしまった生徒や、「修飾する」を「係る」と同じ意味としてとらえた生徒、「修飾する」という言葉の意味そのものを理解していない生徒がいると思われる。

【問4】 アの「街頭」の正答率は73.0%と高かったが、イの「年頭」が46.9%と低いのは、「年頭」という言葉の正確な意味が分からず、字のイメージから「年長者」ととらえ、「上に立つ者」と解答したためと思われる。

【問5】 書き順を正しく理解していないようである。「構(かまえ)」は、「閉じ込んでしまうと中には何も書けない」ということを覚えておけば、間違いは減るのではないかとと思われる。

指導のポイント

○ 漢字の学習について

(1) 紙の辞書を用いた学習指導を積極的に取り入れながら、漢字のもつ意味や多くの同音異義語を正しく理解させる。

(2) 音読を多く取り入れることで、漢字を正しく読めるようにさせる。

(3) 書写指導を中心に、字形や点画、書き順が正しく書けるようにきめ細やかな指導をしていく。

○ 言葉のきまりについては文法用語の意味をまずは理解させ、覚えさせる指導をしていく必要がある。

○ 問題を正確に読み取るため、重要と思われる部分には線を引く等の指導を日頃から行い、習慣化を図る。

(4) 書くこと

大問・領域	問 題	自校の正答率	市の正答率	市の無解答率	設定通過率
5 書くこと 条件作文	次の一コマ漫画が伝えようとしている内容を説明し、その内容についてのあなたの意見を、あとの条件にしたがって書きなさい。 山根 青鬼 作 「国際マンガフェスティバル・インさいたま2006」より 【条件】 ①漫画が伝えようとしている内容について触れながら、それに関するあなたの意見を、自分自身の経験や身の回りの出来事と関連させて書くこと。 ②作文解答用紙には、題名・氏名を書かずに、本文から書き始めること。 ③作文用紙は、原稿用紙の正しい使い方にしたがって書くこと。 ④作文解答用紙に十行以上で書くこと。(書ききれなかった場合は、欄外に書いてもよい。)		51.9	0.4	80

(単位：%)

問題 前頁参照

分析 5 【条件作文】

1 資料について

『国際マンガフェスティバル・インさいたま2006』に出展された山根青鬼「たまには空を」と題された作品である。

今回は、「一コマ漫画」に描かれている内容を読み解く力を求めた問題である。この作品には、携帯電話にばかり目がいつているため、雨がやみ、美しい大きな虹がかかっていることにもまったく気が付かない街中の人々の姿が描かれている。

2 出題の意図

提示された漫画から、自分の経験を交えながら考えや感想を書く問題である。

今回の問題は、入試での出題頻度が高い図表の読み取りではなく、「一コマ漫画」に描かれた作者の主張を読み解く力が要求されている。そして、そこで読み取った内容を、自分自身の経験に結び付けながら、考えや感想を書く力が期待されている。つまり、ここではただ単に「携帯電話」に着目するのではなく、「虹」と関連させながら、ここで描かれている光景が意図する内容について、どのような考えや感想をもつことができるのかが求められる問題である。

3 結果より見られる課題

無解答率は0.4%と、昨年度の「条件作文」問題と比較して大幅に減少した。しかし、正答率は51.9%と、19.2ポイント下がっている。

無解答率が減った理由としては、課題が「一コマ漫画」であるため、文章や図表のように分析を行わずとも、見た目の印象だけで作文が書けてしまうことにあるだろう。しかし、その分、「携帯電話」ばかりに注目してしまい、「虹」と結び付けて考える「分析」という作業を怠ってしまったように思える。

一つのものに気を取られて、全体像を見ることができない。複数のものを結び付けて総合的にとらえることができない。これらは、最近の中学生によく見られる傾向である。日頃からさまざまな場面において、観察や分析を意識的に行う必要がある。

また、誤字脱字のほかに、次に挙げる表記、語句、叙述の仕方に課題が見られた。

- ・一文が長いことによる文中の係り受けの誤り
- ・文体の不統一
- ・話し言葉の使用と誤った表記（数字の表記、補助動詞など）

指導のポイント

- 他の領域の中においても「書くこと」を積極的に取り入れることにより、考えや感想を論理的に説明したり、文章で書き表したりする機会を増やす。
- すべての領域において、「観察」「分析」を行う活動を意図的に取り入れることにより、「観察」し、「分析」する「目」を養えるようにする。
- 伝えようとする内容をより分かりやすくするために、一文を短く書かせる。
- 文章を書く際に、正しい表記や言葉遣い、文法等を意識しながら書く習慣を身に付けさせる。また、書き上げた文章を読み返したり、生徒間で読み合ったりする「推敲する活動」を取り入れることにより、分かりやすい文章を書きあげる力を身に付けさせる。